



天神祭ごみゼロ大作戦2019 実施報告書



天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

実行委員長メッセージ

「みんなでごみにしない仕組み」を
大阪から世界に発信しよう

実行委員長

花嶋 温子

大阪産業大学准教授
なにわエコ会議会長



3回目の天神祭ごみゼロ大作戦を無事終えることができました。ごみゼロ大作戦として活動を始める前の2016年の現状調査から数えると、4年目の夏を終えました。

今回は課題の多い「大作戦」でした。まず、今年は2016年以来、活動の立ち上がりを支えていただいた地元自治体(大阪市)からの市民活動助成金が3年間の事業計画期間を終えゼロとなる自立の年でした。また、2018年に活動地域拡大にあたって大きくご支援をいただいた企業が方針を転換され、ご協賛いただけませんでした。端的にいうと今年は「金欠大作戦」で始まりました。費用のあてがないため、ボランティア募集チラシの印刷なども遅くなり、全ての活動が出遅れてしまいました。

しかしその後、当初からご支援いただいている企業・団体からの継続や新たな協賛もいただきました。また大阪メロ(以前の大阪市の地下鉄)からはご支援に加えて広報協力として、地下鉄の車内中吊り広告を掲示していただきました。過去2回の活動の実績と地下鉄の中吊りにより、市民の皆様の「天神祭ごみゼロ大作戦」の認知度は大きく上昇しました。さらに、近隣の複数の自治体から、同様の取組を市内のイベントで実施したいという問い合わせもあり、活動は大きく広がり始めました。

2019年の「天神祭ごみゼロ大作戦」は、出だしの遅れにより、募集が徹底しなかったのですが、それでも2日間でのべ1000人の方にお集まりいただきました。そして、少ない人手のなかで、ボランティアの皆様のひとりひとりの頑張りにより「天神祭ごみゼロ大作戦」を継続することができました。また、ご支援をいただける新たなつながりを得ることも出来ました。今後は、今年の反省をもとに、より多くの人とつながって続けられるしくみを模索していきます。

2025大阪・関西万博で「みんなでごみにしない仕組み」を大阪から世界に発信できるよう、これからも一緒につながっていきましょう。2020年も7月24日25日は大川のほとりでお目にかかれることを願っています。

CONTENTS

活動概要	4
研修・説明会	5
活動エリア	6
エコステーション	9
ボランティア	10
活動実績	12
エコステーションと花火	16
写真記録	17
情報発信	18
制作物	19

活動概要

目 的	市民・事業者・行政のパートナーシップにより、天神祭における廃棄物の3R（発生抑制・再利用・再生利用）と適正処理を促進し、もって持続可能な循環型社会形成に寄与すること
実施日	2019年7月24日（水）～25日（木）
会 場	大川沿い露店出店エリア
来場者数	130万人
実施内容	1. 廃棄物・資源分別回収のためのエコステーションの設置と運営 2. 天神祭飲食出店者へのリユース食器導入の実施 3. 散乱ごみの清掃活動
ボランティア参加者	のべ980名
主 催	天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会 【実行委員長・花嶋温子（なにわエコ会議会長・大阪産業大学准教授）】
実行委員会構成団体	大阪市／公益社団法人大阪府産業資源循環協会／一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会／大阪神農商業協同組合北支部／大阪ボランティア・市民活動センター／社会福祉法人大阪ボランティア協会／なにわエコ会議／関西製紙原料事業協同組合／大阪府地球温暖化防止活動推進センター／NPO法人大阪府民環境会議／NPO法人ごみゼロネット大阪／大阪ごみ減量推進会議／大阪びんリユース推進協議会／Rびんプロジェクト／WorldSeed／NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone

特別協賛



大阪市高速電気軌道株式会社



象印マホービン株式会社



株式会社タクマ

協賛

こくみん共済 coop <全労済>/サナダ精工株式会社/近畿労働金庫/新日本コンピュータマネジメント株式会社/タニ工業株式会社/大末建設株式会社/早来工営株式会社/学校法人エール学園/一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会/公益社団法人大阪府産業資源循環協会/一般財団法人環境事業協会/一般社団法人大阪労働者福祉協議会

実施ご協力

大阪神農商業協同組合北支部/株式会社ジオメイク/株式会社大恵/関西製紙原料事業協同組合/大阪硝子壺問屋協同組合/吹田市自然体験交流センター/NPO法人ナック(NAC)/一般財団法人大阪労働協会/自治労大阪府本部/一般社団法人平和と自由と繁栄の会館/公益社団法人大阪自然環境保全協会/レストラン杉SOMA(ソーマ)/NPO法人エコネット近畿/大阪市高速電気軌道株式会社/大阪市

助成

大阪府環境保全活動補助金

クラウドファンディングその他によるご寄付

中岡明/加山俊也/三浦禮子/ワタナベハルオ/ヨシダチカコ/LeeWool/花嶋温子/鈴木尚樹(敬称略)

研修・説明会

ボランティアリーダー研修

- ① 6/8(土) エルおおさか - 天神祭とは/ごみの社会的課題とは/お互い仲良くなる
- ② 6/15(土) 京都府立城総合公園 - 京都大作戦下見
- ③ 7/6(土)/7(日) 京都府立城総合公園 - 京都大作戦実践研修
- ④ 7/20(土) エルおおさか - 最終確認・現場下見



4/27(土)

OSAKA SOCIAL ACTION from YAO 合同新歓

ボランティア説明会

6/22(土)、6/23(日)、6/25(火)、6/26(水)

7/2(火)、7/3(水)、7/20(土)

会場: エルおおさか、住之江会館

近畿ろうきん様、エール学園様

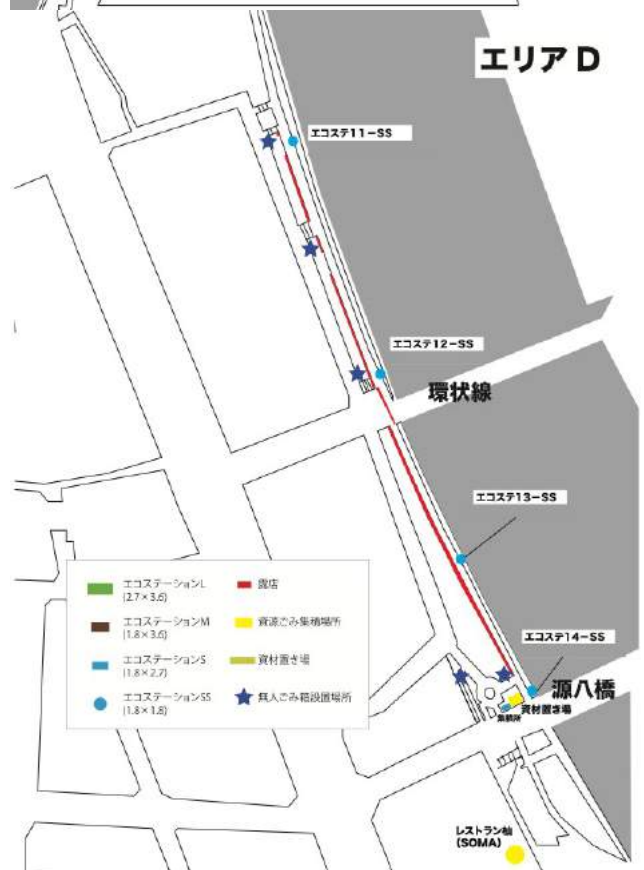
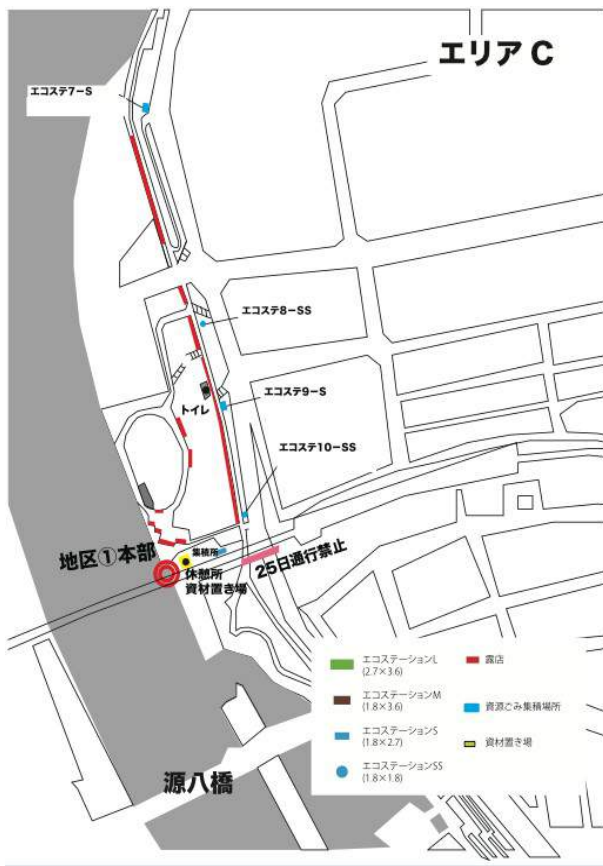
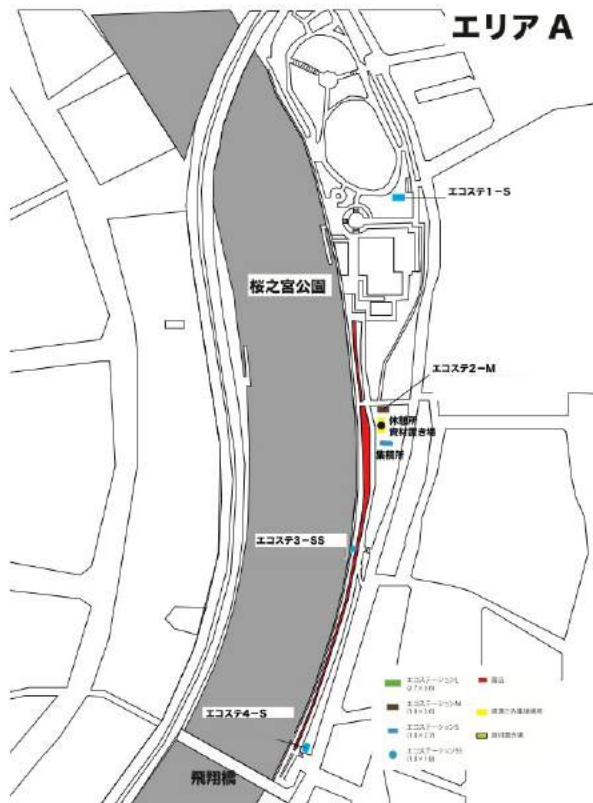


活動エリア

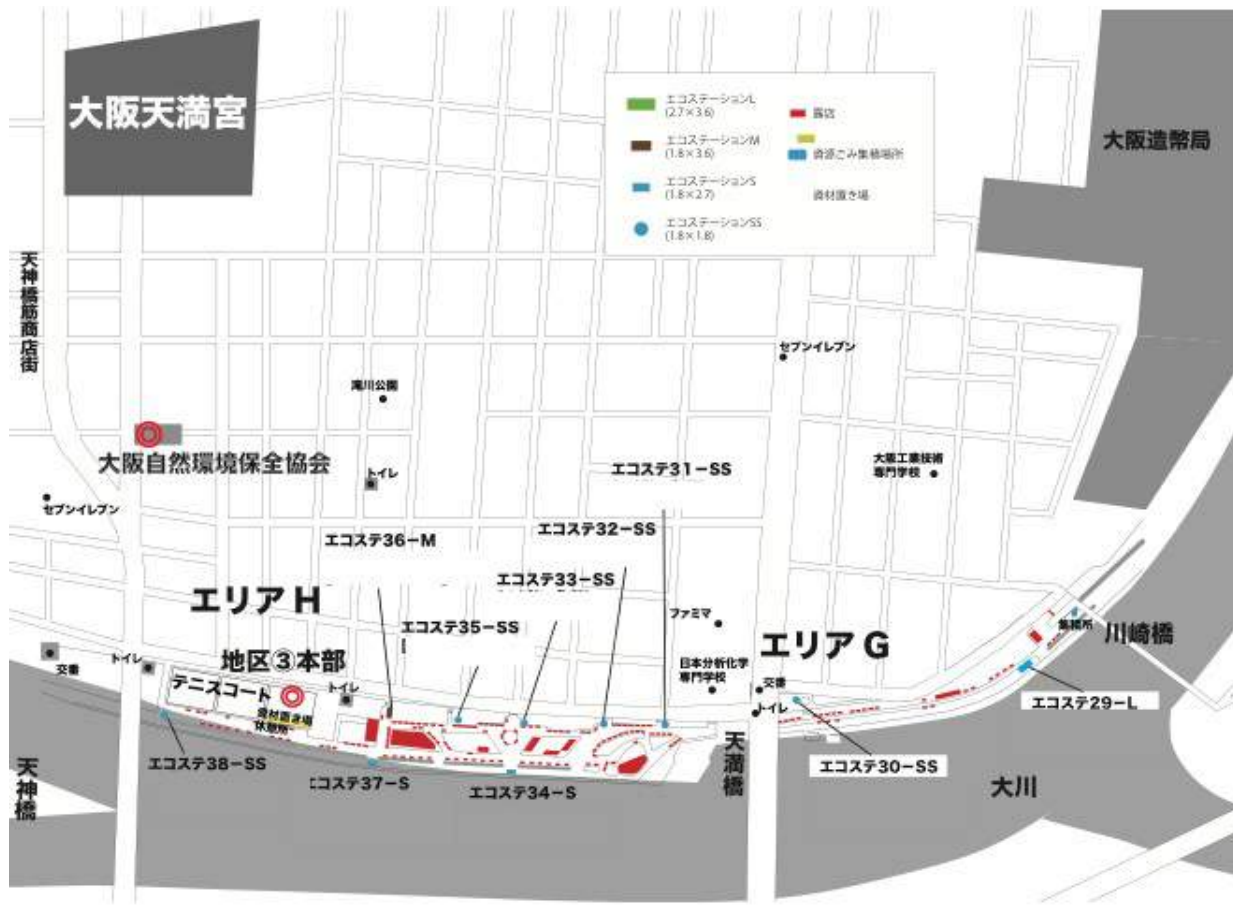
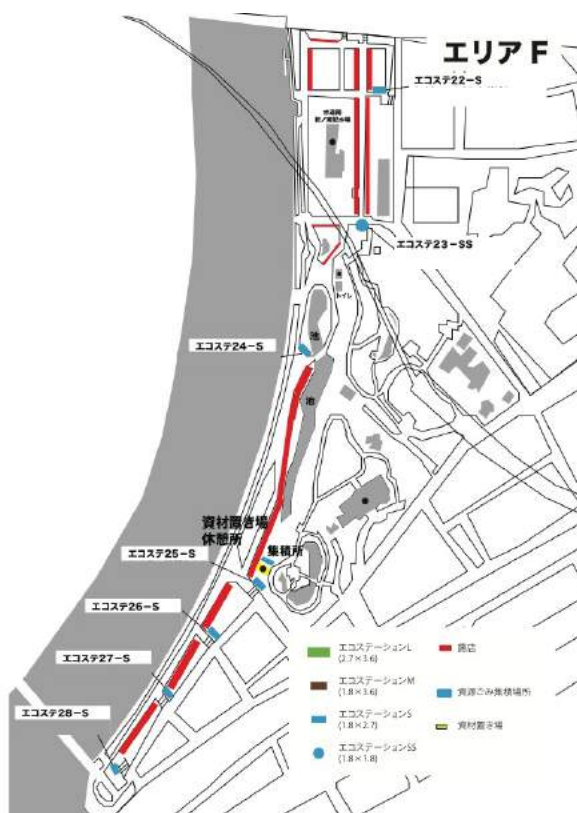
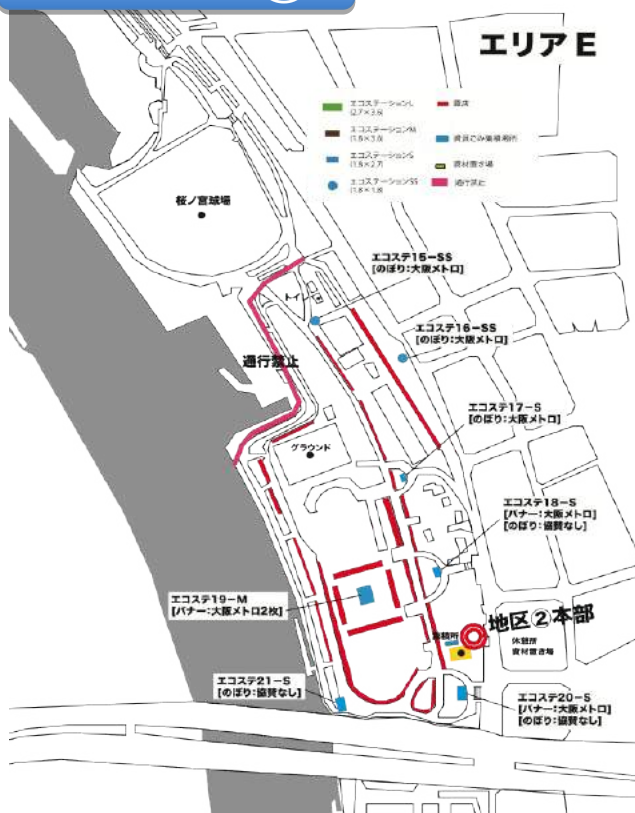
2018年同様、南天満公園と大川沿いの露店出店エリアにて38カ所のエコステーションを設置しました。



エリアMAP①



エリアMAP②



エコステーション

エコステーションでは、のべ約980人のボランティアスタッフとボランティアリーダーがごみと資源物の分別回収と、使用済みリユース食器の回収を行ないました。



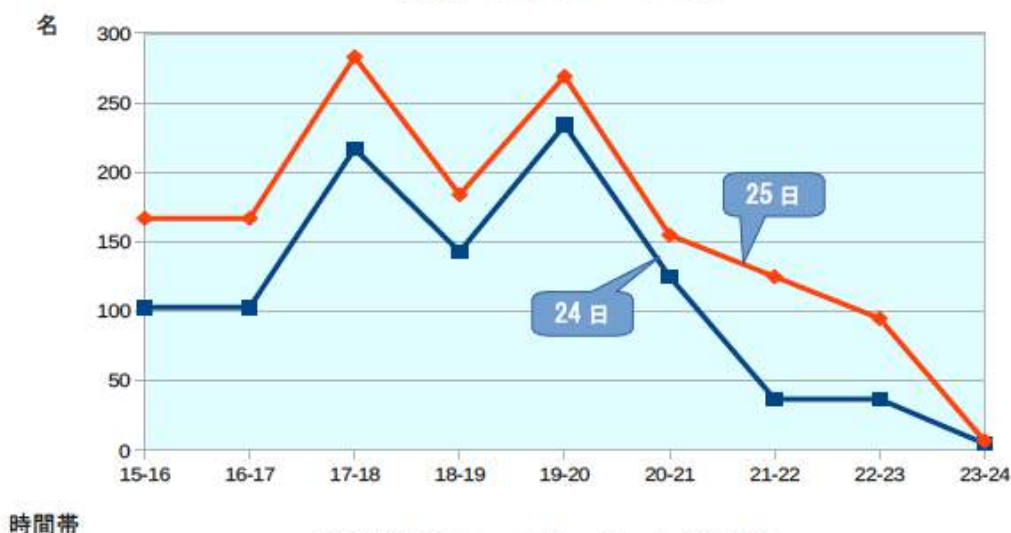
のべ980名のボランティアが参加

2019年度は時間帯別エコステーション別ののべ数で980名の方にご参加いただきました。前年度より減少となりましたが、特に遅い時間帯の確保が困難でした。そのため、一部のエコステーションの活動終了時間を早めることで対応しましたが、回収量の減少要因となりました。

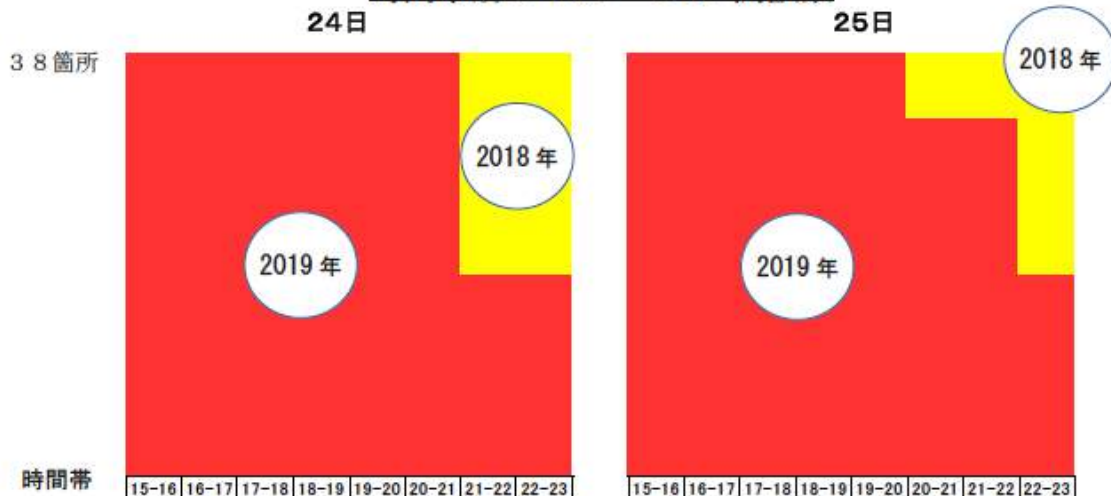
のべボランティア参加数(名)

2017	2018	2019
835	1494	980

時間帯別ボランティア数



時間帯別エコステーション開設数

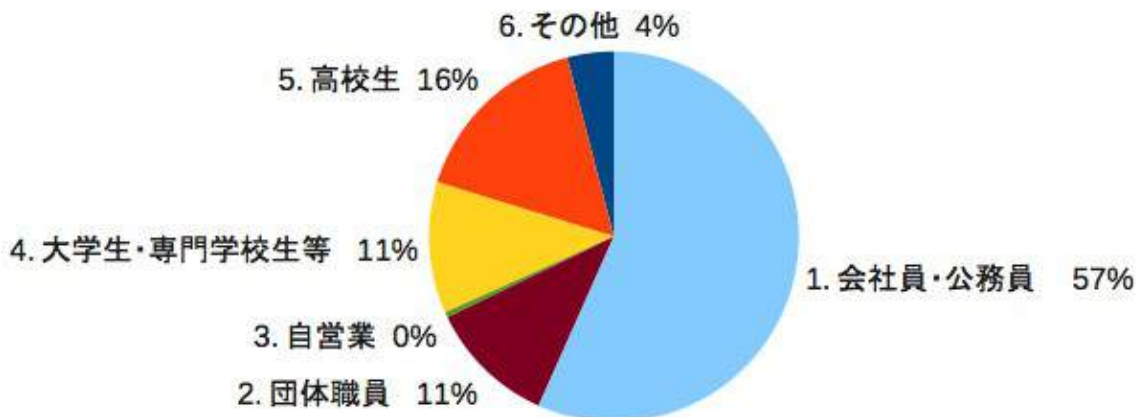


* 2018年は38ヶ所のエコステーションを全時間帯ともオープンしましたが、2019年は遅い時間帯では一部のエコステーションを閉じました。上の図の背景黄色部分がその差です。

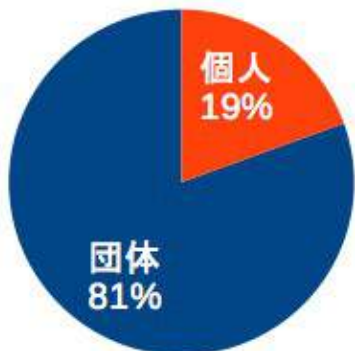
ボランティアの68%が社会人

ボランティアの属性では「会社員・公務員」「団体職員」「自営業」の社会人が68%を占めています。社会人以外の学生等では、「高校生」16%の活躍が目立ちます。（数値は実数に対する割合）

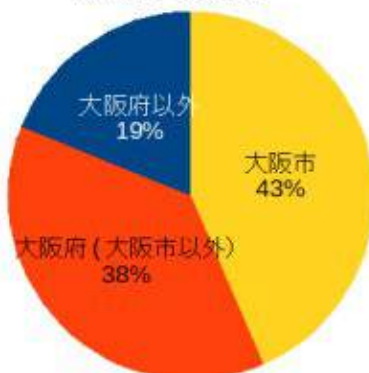
ボランティアの属性



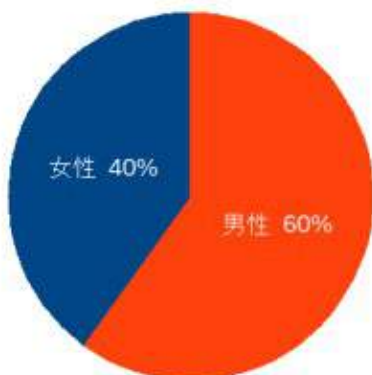
個人・団体別



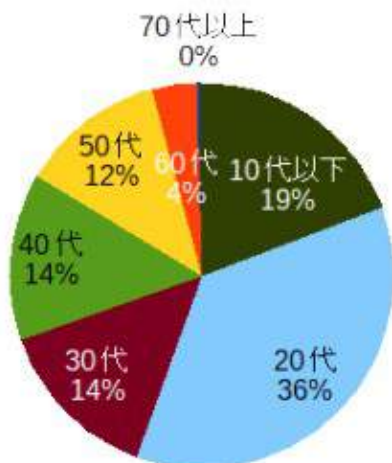
住所または勤務先等



性別



年齢



1.2tを資源化等でごみ減量

資源化・再利用できた量(kg)

	内容	2017	2018	2019
リサイクル (資源化)	びん	430	474	160
	かん	150	850	530
	ペットボトル	230	680	370
	ペットボトルのフタ	23	60	30
	ダンボール		330	80
	小計	833	2,394	1,170
リユース(再利用)	うちわ	20	28	6
総量		853	2,422	1,176

- 遅い時間帯のボランティア数が少なかったため、その時間帯のエコステーション数を減らさざるを得ず、分別回収量は昨年を下回りました。
- 上記のほか、個別には以下の状況がありました。
 - ◇びん 昨年度からの神農組合のびんでの飲料販売自粛が定着をみたように思われます。
 - ◇かん/ペットボトル 1ヶ所の集積所の分が2日間にわたってほぼ全量なくなり、持ち去りが疑われる事態が発生しました。推計になりますが上記の表に入れられなかった回収資源が287kg程度あったと思われます。
 - ◇ダンボール 昨年はエコステーションの回収BOXの予備は資源物としましたが、本年度はエコステーション終了後の散乱ごみ対策として、ごみ箱として設置しました。
 - ◇うちわ 受け入れ先での使用状況を配慮して、汚れ等の選別基準を厳しくしましたので、回収量全てではありません。

リユース食器

使い捨てのカップや皿の発生を減らすため、屋台の露店にリユース食器をE, G, Hエリアで導入しました。



リユース食器2万食分を提供

2019年度は2018年度までの南天満公園に加えて、桜ノ宮公園の桜ノ宮橋（銀橋）北側もリユース食器配布エリアとしました。この結果、提供したリユース食器は約2万食となりました。また、回収率も昨年に引き続き、92%台を維持することができました。

リユース食器の使用データ

	2017	2018	2019
リユース食器採用数	16,080	17,000	19,620
リユース食器紛失数	3,842	1,215	1,478
リユース食器回収率(%)	76.1	92.9	92.5



リユース食器
配布エリア

ボランティア、マイボトル持参者のための 給水スポットを試験設置

実行委員会構成団体である大阪府民環境会議（OPEN）では「水Do!ネットワーク」および「Refill Japan」と提携して、ボランティアの水分補給とマイボトル持参者への応援を目的に、日本初の水道直結式仮設給水機による給水スポットを南天満公園に設置し、実証実験として取り組みました。マイボトルの持参者で多かったのは、外国人観光客そして部活帰りの中学生、高校生たちでした。

水道直結式仮設給水機



▲左 直のみ ▲右 ボトル用



ボランティアに来てくれた高校生たち。水筒には麦茶が入っているので、こんな冷たい直のみは初めてと。一息ついて、エコステーションに向かいました。

水Do!とは?



「水Do!（スイドゥ）」は、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりを促進するキャンペーンです。

URL ▶ <http://sui-do.jp/about>

エコステーションと花火

今年も7月25日の花火が上がっている際にもエコステーションにて活動いたしました。



写真記録



ボランティアさんが活躍しているエコステーションのテントには協賛企業のパナーを付けています。



エリアCの本部に設置している天神祭ごみゼロ大作戦のパナーです。



エコステーションで活動しているボランティアスタッフに交代で拾い歩きをしてもらっています。



会場が暗くなった夜にはパナソニックLEDネックライトを付けて活動しています。



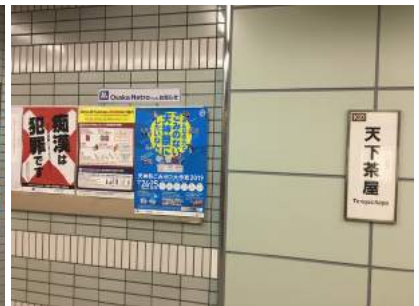
天満橋のPLP会館様にボランティアリーダーの宿泊場所をご提供いただいております。



ダイエー南森町店様に幸せの黄色いレシートキャンペーンを実施いただきました。



▲A1ポスター



▲B3ポスター



▲ボランティア募集チラシ



▲寄付募集チラシ



製作物



▲ボランティアTシャツ



◀分別サイン



▲テント横バナー
[1760x1800mm]



▲のぼり
[580x1785mm]



天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-4-20
(NPO法人 大阪府民環境会議内)

TEL: 06-6195-9868

FAX: 06-7632-4481

E-mail: info@tenjin-gomizero.jp